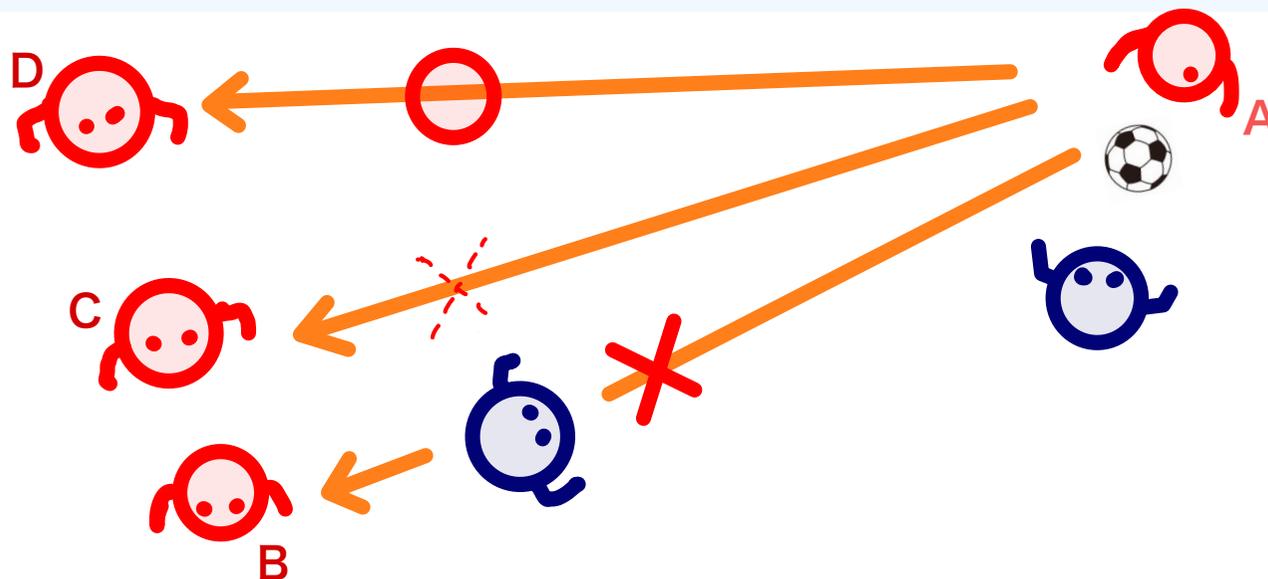


パスコースの作り方。

基本の基本で、まずは自分とボールを持っている選手が線で結べるように。

そしてはっきりとコースを作ることです。

この先どんどん応用は出てきますが、まずは基本として伝えています。



Aへのコースは間に相手がいるのでパスは通りません。

Bへのコースは線は通せたけど、とられるかもしれない微妙なコースです。

パスを出すAにとってもとられるかもしれないと少し出すのが怖くなるコースです。

Cへのコースは線が通せていて、相手選手から大きく離れてはっきりとコースが作れているのでAも安心して出せるコースです。

相手の前方向、左右の横方向、後ろ方向ととるポジションは様々ですが、Cのようなコースを作れるようになって欲しいと伝えています。

ゴール